



# 真筆にみる芭蕉と大垣

重ねる交遊、深まる心

四日市

海道絵巻(西尾市岩瀬文庫蔵)

落花仙画 五竹坊筆「よしのにて」句芭蕉像(個人蔵)

平成30年 **9/29** **土** ~ **11/11** **日**  
開館時間 9:00~17:00

ところ **大垣市奥の細道むすびの地記念館**  
**1階 企画展示室**

## 企画展関連講座

〈記念館 多目的室1〉

### ギャラリートーク

(学芸員による企画展示解説)

〈企画展示室〉

9/30(日)・10/14(日)

11/4(日)・11/11(日)

いずれも15:00~ 30分程度

事前申込み不要 参加費無料

(ただし、入館料は必要)

### 芭蕉は鼠ヶ関を越えたのか

—「おくのほそ道」の番所について—

10/28(日) 14:00~15:30

講師:金森 敦子氏 (作家、歴史研究家)

受講料無料

要事前申込み  
9月1日(土)~

定員80名

大垣市奥の細道むすびの地記念館

〒503-0923 岐阜県大垣市船町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430

主催/大垣市・大垣市教育委員会

問い合わせ先/文化振興課 〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2丁目55番地  
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715 <http://www.city.ogaki.lg.jp/>

#### 施設案内

館内施設	芭蕉館/先賢館	観光・交流館
料金	一般300円 団体150円 (18歳未満は無料)	無料
開館時間	午前9時~午後5時	午前9時~午後9時
休館日	無休(ただし、12月29日~1月3日は休館)	



みんなで築こう 人権の世紀  
~考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合おう~

大垣は美濃路と水門川が交差する水陸交通の要衝として人・経済・文化の交流が盛んでした。そうした背景のもと俳諧文化が醸成され、江戸以外で早い時期から芭蕉に心を寄せる俳人が多くあらわれました。

芭蕉にとって大垣は、『野ざらし紀行』の旅で旅の緊張感から解放された安息の地であり

『奥の細道』の旅でむすびの地となるかけがえのないまちでした。

芭蕉が大垣の蕉門俳人に宛てた手紙には細やかな心配りがかいま見られ

一方、大垣の蕉門俳人の活動からは芭蕉を慕っていたことがわかります。

第二十四回企画展では芭蕉と大垣の蕉門俳人との交遊について

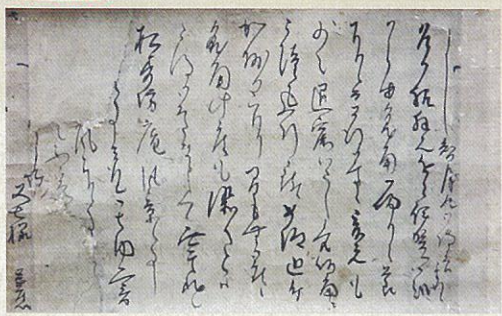
芭蕉の発句や書簡、俳書を紹介しながらたどっていきます。秋風そよぐ奥の細道むすびの地で

芭蕉と大垣の縁を感じてみませんか。



木因句文巻(天理大学附属天理図書館蔵)

初公開



元禄3年4・5月頃又七(乙州)宛芭蕉書簡(当館蔵)

展示品

- ・芭蕉筆「ひよるひよると」発句画賛(個人蔵)
- ・芭蕉筆「隠家や」発句懐紙(個人蔵)
- ・芭蕉筆「こもり居て」発句短冊(個人蔵)
- ・天和2年3月20日付木因宛芭蕉書簡(大垣市立図書館蔵)
- ・元禄4年10月3日付如行宛芭蕉書簡(個人蔵)
- ・元禄5年10月13日付如行宛芭蕉書簡(個人蔵)
- ・木因句文巻(天理大学附属天理図書館蔵)
- ・元禄3年4・5月頃又七(乙州)宛芭蕉書簡(当館蔵) ほか

企画展関連講座

日 程	10月28日(日) 14:00~15:30
テ ー マ	芭蕉は鼠ヶ関を越えたのか —「おくのほそ道」の番所について—
講 師	金森 敦子氏 (作家、歴史研究家)
場 所	奥の細道むすびの地記念館 多目的室1
定 員	80名
受 講 料	無料
申込み方法 問い合わせ先	申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAXまたは 奥の細道むすびの地記念館ホームページ( <a href="http://www.basho-ogaki.jp/">http://www.basho-ogaki.jp/</a> )より 〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2-55 大垣市教育委員会 文化振興課 TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715



※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページ等でお知らせします。

奥の細道むすびの地記念館 企画展関連講座  
**芭蕉は鼠ヶ関を越えたのか —「おくのほそ道」の番所について—**

**参加申込用紙**

ふりがな

名 前

住 所

□□□□ - □□□□

電話・FAX番号

電話

FAX

※申込書の個人情報は、適切に管理し、本事業以外の目的には一切使用しません。

**FAX**  
0584-81-0715